

株主通信

— 2016年冬号 —

au



auはサッカー日本代表を応援します



Contents

- 1 トップメッセージ
- 3 特集 お客さま価値を創造し、
新たなステージへ
シリーズau経済圏 auでんき
- 5 会員制プログラム「au STAR」
- 6 UQ mobile
- 7 株主さま広場
- 9 株主さまの質問にお答えします
- 10 アンケート結果のご報告
- 11 企業情報

表紙について



©JFA キリンカップサッカー2016 対ブルガリア代表戦先発メンバー 2016.6.3

「世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える」というJFAのビジョンのもと、飽くなき挑戦を続ける日本代表選手の姿に当社は強く共感し、サッカー日本代表チームのサポーティングカンパニー*になりました。当社の持つ通信技術、サービスを活かし、皆さまとともに、すべての日本代表を応援していきます。

* サポーティングカンパニーとは、SAMURAI BLUE（日本代表）、なでしこジャパン（日本女子代表）をはじめ、U-23、U-20、U-17、フットサル、ビーチサッカーなど、すべての日本代表を支援するスポンサーカテゴリー

株主通信は、ウェブサイトでもご参照いただけます。
<http://www.kddi.com/corporate/ir/ir-library/report/>

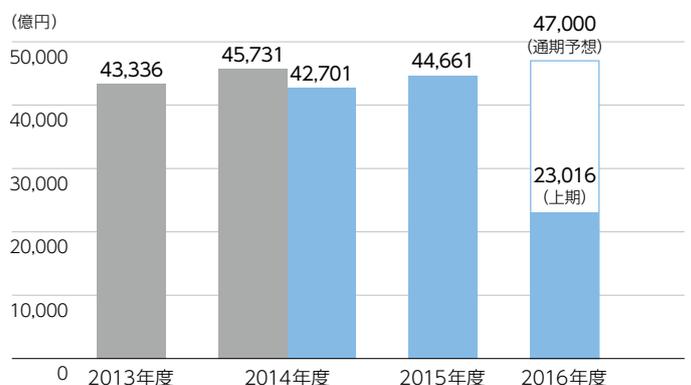


トップメッセージ



KDDI株式会社 代表取締役社長
田中 孝司

連結営業収益／売上高推移



■ 日本基準 ■ IFRS
※ 千万円以下を四捨五入にて表示しています

「ライフデザイン企業」としての 着実な成長を目指して

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

上期の業績と主な取り組み

2016年度上期の業績は、連結売上高2兆3,016億円(前年同期比7.0%増)、連結営業利益5,326億円(前年同期比18.0%増)となりました。

当社は現在、お客さま体験価値を提供する「ライフデザイン企業」への変革を進めております。

事業基盤である国内通信事業においては、auを長期的にご利用いただけるよう新たな会員制プログラム「au STAR」を開始いたしました。また、連結子会社UQコミュニケーションズでは、「UQ mobile」の強化に注力しております。IoTの分野でも、コネクティッドカーやスマートメーターなどの新しい取り組みを始めております。

4月には、新たな成長軸のひとつである「au経済圏」の新サービスとして「auでんき」、「auのほけん・

ローン」を開始するなど、この上期は、通信以外の分野にも事業領域を拡げることで、「ライフデザイン企業」としての大きな一歩を踏み出しております。

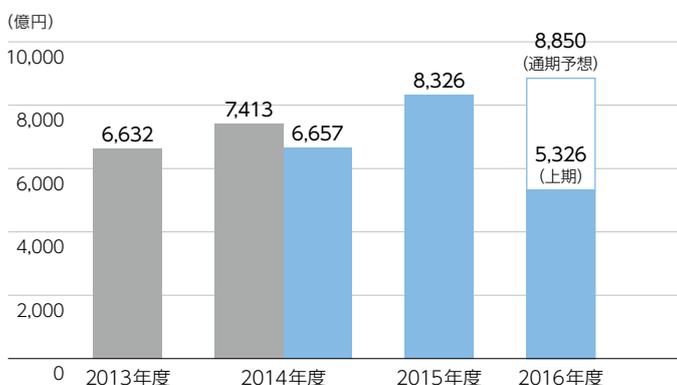
株主還元と株主優待制度

株主還元については、2016年度の中間配当を1株当たり40円とし、年間配当は1株当たり80円(前期比10円増配)を予定しております。さらにこのたび、株主優待制度をリニューアルいたします。

引き続き、国内通信事業、「au経済圏」の拡大およびグローバル事業での積極展開を図ることで、持続的な利益成長を目指すとともに、株主還元の強化に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

連結営業利益推移

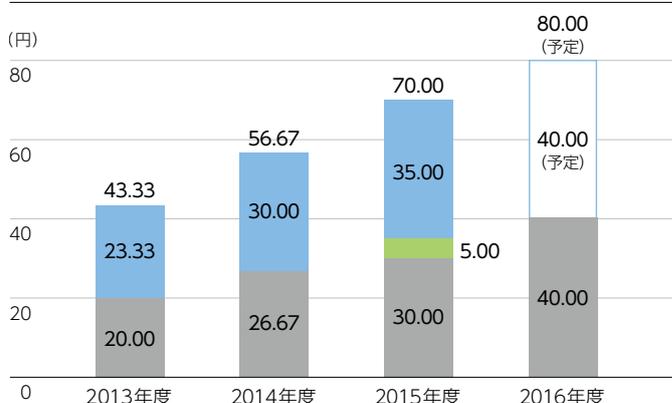


■ 日本基準 ■ IFRS

※ 千万円以下を四捨五入にて表示しています

※ 2016年度第1四半期連結会計期間において、企業連結に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2015年度の上記額については、本内容確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しを反映させた後の金額を表示しています

1株当たり配当金



■ 中間配当 ■ 記念配当 ■ 期末配当

※ 2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株に分割しています

お客さま価値を創造し、新たなステージへ

持続的な成長と企業価値の向上を目指し、「ライフデザイン企業」としてのチャレンジが始まっています。



でんき

シリーズ au経済圏 auでんき

2016年4月、全国^{*3}でauの電気サービス「auでんき」を開始しました。auスマートフォンやauケータイをあわせてご利用いただくことで、毎月の電気利用料金に応じて最大5%相当分を「au WALLET プリペイドカード」へチャージ(入金)する「auでんきセット割」をご提供しています。9月には、「auひかり」ご利用のお客さまにも対象を拡げています。

また、日々の電気使用量や料金、家電別の消費量などを手軽に確認できる専用アプリ「auでんき」は、



「auでんき」の詳細は、ウェブサイトをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/electricity/>



auライフデザイン

お客様のライフスタイルに応じて、さまざまなサービスをご提案し、お客様の期待を超える体験価値をご提供していく、当社の新しい取り組みです。

auのお客様基盤と決済プラットフォーム「auかんたん決済」や「au WALLET」をベースとした物販・金融・エネルギーなど、通信以外の領域でのサービス拡充を加速させています。

auが提供する通信以外の多様なサービスにより形成される「au経済圏」は、2016年度に1.2兆円、中期目標の最終年度となる2018年度には2兆円超の流通総額を目指しています。

WALLETポイント

auの通信サービスや「auかんたん決済」、「au WALLET」をご利用時にお客さまに付与される「WALLETポイント」は、チャージ(入金)^{*1}して、1ポイント1円で全国のコンビニやドラッグストア・家電量販店などさまざまな店舗で現金と同じようにご利用になれます^{*2}。

新たなポイントプログラム「WALLETポイント」は、auの通信サービスへのお支払いなどに限定していた従来の「auポイント」から大きくご利用範囲を拡大し、利便性が向上したことで、多くのお客さまにご好評をいただいています。

お客様のさまざまな生活シーンで「WALLETポイント」をご利用いただき、シームレスに循環させていくことで、「au経済圏」のますますの活性化、最大化が見込まれます。お客さま一人ひとりのニーズにお応えし、期待を超える体験価値・サービスをご提供していくことで、持続可能な成長の実現を目指します。

^{*1} 「au WALLET プリペイドカード」に月1回、上限20,000円まで

^{*2} 「au WALLET プリペイドカード」または、「au WALLET クレジットカード」のお申込みが必要です
また、一部対象外の店舗・サービスがあります

契約者ご本人だけでなく、ご家族の方もご利用になれます^{*4}。

さらに、お客さまが気軽に省エネに取り組めるようなサポート機能も、兼ね備えています。

今後も、当社のさまざまなサービスと連携し、お客様の日常がより便利で豊かなものになるように、最適なお提案を行っていきます。

^{*3} 沖縄県、一部離島を除きます

^{*4} au IDが必要です



専用アプリ「auでんき」の画面イメージ

会員制プログラム「au STAR」

auをご利用のお客さまへ感謝の気持ちを込め、2016年8月から、どなたでも※1ご登録いただける無料の会員制プログラム「au STAR」を開始しました。

※1 auスマートフォン・auケータイをご利用の個人のお客さま対象

会員の皆さまには、3つの特典をご用意しています※2

※2 各特典の適用には条件があります

特典1 au STAR パスポート



auショップにご来店いただく前に、専用ウェブサイト※3でご希望日時※4の優先予約やご用件・ご要望などの事前登録ができます。

※3 「au STAR」会員ページ(PC/スマホ)からお申し込みになります

auショップ、お客さまセンターでのお申込みも可能です

※4 ご登録の翌日から2週間以内の日に、1時間単位での来店時間を選択いただけます

特典2 2016年11月から開始 au STAR ロイヤル



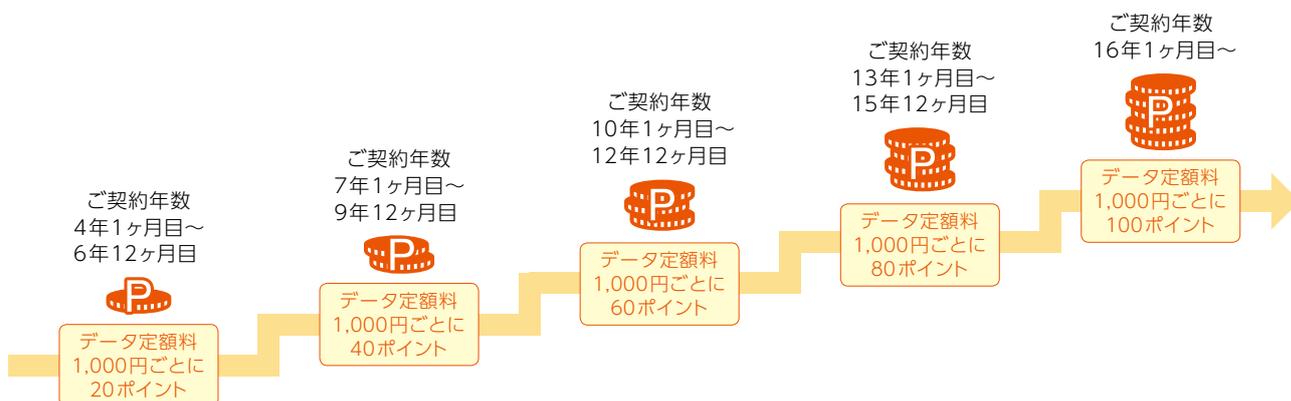
auのご契約年数とデータ定額料※5に応じて、定額料1,000円(税抜)ごとに「WALLETポイント」を毎月プレゼント※6します。たとえば、ご契約年数10年1ヶ月目で月額5,000円の「データ定額5」をご契約のお客さまには、毎月300ポイントをプレゼントします。

「WALLETポイント」は、チャージ(入金)※7して、1ポイント1円でコンビニなどの店舗で現金と同じようにお使いになれます。

※5 「auスマートバリュー」にご加入の場合、割引額を差し引いたデータ定額料が対象

※6 回線ごとの毎月月末時点での対象契約内容に応じ、翌月プレゼントします

※7 「au WALLET プリペイドカード」に月1回、上限20,000円まで



特典3 au STAR ギフト



ご契約中のデータ定額プランの容量を、海外でも同じようにご利用いただける「世界データ定額」24時間分(980円)を毎月プレゼントします。また11月からは、「誰でも割」更新のお客さまに、専用のポイント交換サイトでご利用可能なギフト券(3,000円相当額)をプレゼントするなど、さまざまなギフトをご用意しています。



「au STAR」の条件など詳細は、ウェブサイトをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/pr/star/>



UQ mobile

連結子会社UQコミュニケーションズ株式会社では、auのネットワークを利用したMVNO^{*1}として「UQ mobile」サービスをご提供し、お客さまの多様なニーズにお応えしています。

UQ mobileでは、au 4GLTE^{*2}(800MHz プラチナバンド)に対応した高品質のデータ通信、音声通話、SNSのデータ消費ゼロ^{*3}をセットにした月額1,980円^{*4}からご利用いただける「ぴったりプラン」などの低価格の料金プランや、iPhone 5sをはじめとしたさまざまな端末のご提供により、順調に契約数を伸ばしています。

また、顧客満足度調査「格安SIMアワード2016^{*5}」の通信速度部門で2年連続最優秀を獲得するなど、安定した通信速度が多くのお客さまから高い評価をいただいております。

家電量販店などでのUQ mobileの取り扱い店舗は、1,548店舗^{*6}まで拡大しています。2016年9月には「UQスポット^{*7}」を開設し、インターネットでのお申込みなどに不安をお持ちのお客さまにも安心してご契約いただけるよう、専門のスタッフが対面でご説明・ご提案を行うなど、お客さまとの

リアルなタッチポイントの強化に努めています。

10月からは、より多くのお客さまにUQ mobile サービスをご理解いただけるよう、新しいキャラクターを起用したテレビCMを開始しました。

今後もUQコミュニケーションズでは、WiMAX サービスで培ってきたモバイルデータ通信のノウハウを活かし、安心・快適・高品質なスマートフォンサービスのご提供と、お客さま一人ひとりのニーズに適切にお応えしていきます。

^{*1} Mobile Virtual Network Operator (仮想移動体通信事業者)の略
無線通信インフラをほかの携帯電話事業者などから借り受けてサービスを提供する事業者

^{*2} 国際電気通信連合(ITU)がLTEを「4G」と呼称することを認めた声明に準ずる
^{*3} 通信の高速・低速の切り替えができる「ターボ機能」で、低速通信(ターボOFF)設定時による

^{*4} 2年契約(自動更新)。割引適用時の13ヶ月目までの基本料金
ただし、auおよびau系MVNOからの転入時は除く(税別)

^{*5} 「格安SIMアワード2016」の詳細は、株式会社イードのウェブサイト(<http://www.iid.co.jp/news/press/2016/081501.html>)でご確認ください

^{*6} 2016年10月5日現在で即時開通できる店舗数

^{*7} 2016年9月現在、「UQスポット上野」(東京都台東区上野)および「UQスポット心斎橋北」(大阪市中央区南船場)の2店舗開設



UQコミュニケーションズ株式会社のウェブサイトも
ご参照ください。
<http://www.uqwimax.jp>



株主さま広場

株主優待制度をリニューアル

株主の皆さまの日頃のご支援にお応えし、より一層のご愛顧をいただくため、株主優待制度を導入しています。株主さまにこれまで以上に満足いただけるよう、このたび優待制度の内容を一新します。

新しい株主優待※1

保有株式数100株以上の株主さま※2を対象に「au WALLET Market 商品カタログギフト」を贈呈します。保有株式数と保有期間に応じて、全国47都道府県のグルメ品をお選びいただけます。

贈呈時期：2017年6月下旬予定

		保有期間	
		5年未満	5年以上
保有株式数	100～999株	3,000円	5,000円
	1,000株以上	5,000円	10,000円

上記金額はカタログ商品の相当額です

カタログギフト(全国47都道府県のグルメ品)の商品一例※3



3,000円相当の商品一例
信州戸隠そば詰め合わせ

3,000円相当の商品一例
八戸鯖の棒寿司・鯖のスマーク

10,000円相当の商品一例
札幌バルナバハム
ハム・ウィンナー



3,000円相当の商品一例
山形の極み
プレミアムデザートジュース

10,000円相当の商品一例
とらふく刺身・ちり鍋セット

5,000円相当の商品一例
おもろ海産
島もずくスープセット

5,000円相当の商品一例
新宿中村屋 プチカレーセット



3,000円相当の商品一例
月揚庵のさつまあげ



10,000円相当の商品一例
日本の極み うめみつぼし

3,000円相当の商品一例
宇和島じゃこ天詰め合わせ



5,000円相当の商品一例
近江牛 すき焼用

※1 本変更に伴い、現優待制度「au WALLET Market 商品詰め合わせ」および「au 端末割引クーポン」は廃止します

※2 新しい株主優待制度は、2017年3月末の株主名簿に記録された株主さまが対象となります

今後の業績動向や会社方針などさまざまな要因によって、制度の廃止を含む優待制度そのものの見直し、または内容変更が行われる可能性があります

※3 在庫や仕入れなどの状況により、変更となる場合があります

施設見学会レポート

株主さまを対象とした施設見学会を開催しています。2016年9月には、海底ケーブル保守船「KDDIオーシャンリンク」の停泊港施設「国際ケーブルシップ・横浜保守センター」をご見学いただきました。

ご見学いただいた主な内容



光ファイバー接続のデモンストレーション

海底ケーブルは複数の光ファイバーが束ねられています。破損した際には、船上で光ファイバーをつなぎ合わせ補修します。



ケーブルに接続される中継器

光ファイバー内で減衰した光信号を増幅し中継する装置です。約8,000mの深海でも安定して動作するように設計されています。



海底ケーブルを保管するケーブルタンク

内側直径8m・高さ4m、400kmの海底ケーブルが保管できるタンクを、屋外に15基設置しています。



海底ケーブル保守船の搭載設備

ケーブルの切断・引き揚げを行う際に海底に埋められたケーブルを捕線する設備など、さまざまな装置を搭載しています。

参加された株主さまの声

- 海底ケーブルの維持・保守にかかわる社員の熱い思いが伝わり、とても感動した。
- インフラを担う企業活動の重要性を改めて感じた。益々の成長を期待したい。
- 普段は見ることのできない施設を見学でき、とても興味深かった。



※ 施設見学会は、アンケートにご回答いただき、「施設見学会」への参加をご希望いただいた株主さまを対象に、抽選でご招待しています
当初予定していた「KDDIオーシャンリンク」のご見学は、同船がケーブル補修により緊急出港したため、上記施設見学会に変更となりました

株主さまの質問にお答えします

Q ミャンマー、モンゴルでの取り組みについて、教えてください。

連結子会社KSGM^{*1}が住友商事とMPT^{*2}との共同で行っているミャンマー通信事業では、モバイルの累計契約者数が共同事業契約締結時の3倍以上となる2,000万^{*3}に達するなど、順調に事業を拡大しています。2016年6月には、ミャンマーのブランド調査「BrandZ Spotlight」^{*4}で、ブランドの信頼性・サービス品質や技術力などが評価され、「The Most Loved Brand」に選ばれました。



MPT^{*2}の店舗

またモンゴルでは、連結子会社モビコム^{*5}において、5月に4Gサービス(LTE)を開始し、多くのお客さまにご利用いただいています。

今後も成長軸としてのグローバル事業を、積極的に展開していきます。

※1 KDDI Summit Global Myanmar Co., Ltd.の略

※2 ミャンマー連邦共和国における国営の通信事業者Myanma Posts and Telecommunicationsの略

※3 2016年5月現在

※4 広告代理店グループWPPと市場調査団体Kantar Millward Brownによるブランドランキング

※5 MobiCom Corporation LLCの略

Q IoTの推進状況について、教えてください。

パソコンや携帯電話だけでなく、あらゆるモノがインターネットにつながるIoTは、生活をより便利にし、社会に大きな変化をもたらしていくと予想され、さまざまな領域での活用が検討されています。当社でも、このIoT分野での取り組みを始めています。

トヨタ自動車株式会社と共同で取り組んでいるコネクティッドカー^{*1}では、ローミングサービスなどに依存しないグローバルプラットフォームの構築とグローバルな展開を目指しています。また、当社は全国の電力会社におけるスマートメーター^{*2}の通信回線を担っています。今後、多くの世帯で本メーターの導入が見込まれるこの市場において、通信事業者ならではの強みを生かした取り組みを行っていきます。

2016年10月には、au未来研究所^{*3}と株式会社ニューバランスジャパンによる共同開発IoTシューズ「FUMM(フォーム)」を活用したアトラクション^{*4}が、よみうりランド(東京都稲城市・神奈川県川崎市)にオープンしました。IoT商品やコンセプトモデルの開発などにも注力し、皆さまに新しい価値をご提案していきます。



IoTシューズ「FUMM(フォーム)」とアトラクションのスマートフォン画像

※1 インターネットに常時接続する自動車。リアルタイムに情報をやり取りし、渋滞緩和や危険予知など、さまざまなサービスとの連携が期待されている

※2 通信回線を用いて電力の利用状況をリアルタイムに管理できる次世代型の電力メーター

※3 “スマホの次”の発明を目指し、外部の専門家と生活者が共創を行う仮想のオープンラボトリー

※4 子どもが着用するセンサー搭載のIoTシューズ「FUMM(フォーム)」が子どもの動きや地面の色を感知し、親が持つスマートフォンに表示させる映像や音をもとにさまざまなミッションを楽しむ迷路型アトラクション

Q 月面探査チーム「HAKUTO (ハクト)※1」について、教えてください。

当社は、世界初のロボット月面探査レース「Google Lunar XPRIZE (グーグル・ルナ・エクスプライズ)※2」にチャレンジする日本唯一のチーム「HAKUTO」を通信技術でサポートしています。

2016年8月に公開したフライトモデルデザインは、従来デザインよりも小型軽量化し、宇宙空間に対応するための改良が施されました。当社は、途切れない無線通信システムを構築するために最適なアンテナシステムの設計や、高解像度の動画・静止画データを効率的に送信する技術の支援をしています。

今後は月面走行する実機を製造し、2017年中の打ち上げを目指します。私たちのチャレンジにどうぞご期待ください。



HAKUTO フライトモデル

- ※1 株式会社ispaceが運営する世界初の民間による月面探査を目指している団体
- ※2 月面に民間開発の探査機を着陸させ、500m以上走行、月面の動画や静止画を地球に送信するミッションを最も早く達成したチームが優勝するレース



詳細は、特設ウェブサイトをご参照ください。
<http://au-hakuto.jp/>

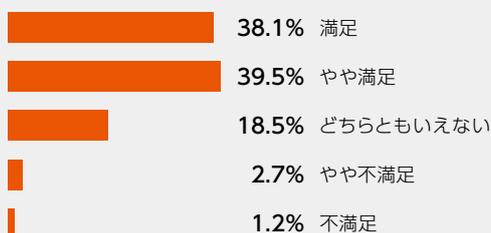


アンケート結果のご報告

株主通信 2016年夏号のアンケート結果の一部をご報告します。皆さまからいただいた貴重なご意見・ご要望は、今後の経営や株主さま向けの情報発信の参考とさせていただきます。ご協力いただき、ありがとうございました。

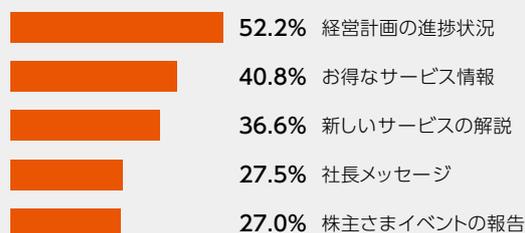
有効回答数
2,887名

Q 株主優待「au WALLET Market」商品詰め合わせセットに関する感想をお聞かせください。



株主の皆さまにとってより魅力ある優待を目指し、優待制度の内容をリニューアルします。詳しくは、7ページをご参照ください。

Q 株主通信から、どのような情報を得たいとお考えですか。(複数回答)



今号では特に、「お得なサービス情報」・「新しいサービスの解説」に関する情報を拡充しました。今後も、当社の魅力を分かりやすくお伝えできるよう努めます。

株主さまアンケート、施設見学会などのご案内

同封のご案内に、「株主さまアンケート」のご回答方法や「施設見学会」などへの応募方法を記載しています。どうぞご覧ください。



企業情報

会社概要 (2016年9月30日現在)

商号 KDDI株式会社
創業 1984年6月1日
事業内容 電気通信事業

取締役及び監査役

取締役会長 小野寺 正
代表取締役社長 田中 孝司
代表取締役執行役員副社長 両角 寛文
代表取締役執行役員副社長 高橋 誠
代表取締役執行役員副社長 石川 雄三
取締役執行役員専務 田島 英彦
取締役執行役員専務 内田 義昭
取締役執行役員常務 東海林 崇
取締役執行役員常務 村本 伸一
取締役 社外 久芳 徹夫
取締役 社外 小平 信因
取締役 社外 独立 福川 伸次
取締役 社外 独立 田辺 邦子
取締役 社外 独立 根元 義章
常勤監査役 小林 洋
常勤監査役 石津 浩一
常勤監査役 社外 独立 山下 章
監査役 社外 独立 高野 角司
監査役 社外 独立 加藤 宣明

社外 会社法に定める社外取締役・社外監査役

独立 東京証券取引所の有価証券上場規程に定める独立役員

株式の状況 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数 4,200,000,000 株
発行済株式の総数 2,620,494,257 株
株主数 60,635 名
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)	持株比率 (議決権比率) (%)
京セラ株式会社	335,096	12.78	13.62
トヨタ自動車株式会社	298,492	11.39	12.13
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	162,675	6.20	6.61
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	129,738	4.95	5.27
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	79,044	3.01	3.21

※ 当社は自己株式160,937千株を保有していますが、上記大株主から除いています

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しています

※ 株式数は千株未満を切捨てて表示しています

株主メモ

お知らせ 住所変更その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)にお問い合わせください。

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金 毎年3月31日

支払株主確定日 毎年9月30日

中間配当金 毎年9月30日

支払株主確定日 電子公告

公告方法 <http://www.kddi.com/corporate/ir/e-public-notice/>

※ 事故その他により、やむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

☎ (0120) 232-711

特別口座に登録された株式に係る手続用紙のご請求は、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社の

電話番号(自動音声応答)及びインターネットでも24時間承っています。

☎ (0120) 244-479 (東京) ☎ (0120) 684-479 (大阪)

インターネット <http://www.tr.mufj.jp/daikou/>

株式に係る「マイナンバー制度」について

マイナンバー制度とは

国民一人ひとりにマイナンバーを配付し、その番号によって複数の行政機関に存在する個人の情報を正確に連携させるための新しい社会基盤です。

株式関連業務における マイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出します。

主な支払調書

● 配当金に関する支払調書 ● 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書
市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続が必要となります。
このため、株主さまから、お取引の証券会社などへマイナンバーを届出いただく必要があります。

マイナンバーの届出に関するお問い合わせ先

● 証券口座にて株式を管理されている株主さま → お取引先の証券会社までお問い合わせください。

● 証券会社とのお取引引きがない株主さま → 右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。 三菱UFJ信託銀行 証券代行部 ☎ (0120) 232-711

※ このご案内は、2016年9月現在の情報をもとに作成しています

KDDI株式会社

〒102-8460 東京都千代田区飯田橋三丁目10番10号 ガーデンエタワー
(本店所在地: 東京都新宿区西新宿二丁目3番2号)
<http://www.kddi.com/>

